SMC100 シリーズ（SMC101A）取扱説明書

このたびは, SMC101A をお買い上げいただき誠にありがとうございます.

ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき, 本装置が充分に機能を発揮できますよう, 正しいお取り扱いをお願いいたします.

警告表示について

この取扱説明書では, お客さまの身体や財産に損害を与えないよう, 以下の警告表示をしています.

⚠警告 正しくご使用にならない場合，死亡する，または重傷を負うことがあり得ることを示します.

⚠注意 正しくご使用にならない場合，軽傷または中程度の傷害を負うことがあり得ることと，当該製品自身またはその他の使用者などの財産に損害が生じる危険性があることを示しています.

VCCI 適合基準について(SMC101A1/A11)

この装置は，情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です. この装置は，家庭環境で使用することを目的としていますが，この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると，受信障害を引き起こすことがあります. 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください.

ハイセイフティ用途への使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用等の一般的用途を想定して設計･製造されているものであり、原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命･身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計･製造されたものではございません. お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください. ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください.

警告マークについて

この取扱説明書では, 安全上の注意事項を記述した箇所に, 警告表示とともにその内容を示す警告マークを配置して一目でわかるように配慮しています. 使用している警告マークの意味は以下のとおりです. 内容をよく理解したうえで, お読みください.

感電注意

感電する危険性について記述していることを示します.

高温注意

高温による障害の危険性について記述していることを示します.

一般的禁止

一般的な禁止事項を記述していることを示します.

一般的注意

一般的な注意事項を記述していることを示します.

安全上の注意事項

⚠警告

感電注意

●通信アダプタをご使用の際には，電源コードを傷つけないでください．
感電や火災のおそれがあります．

一般的禁止

●通信アダプタは専用品以外を使わないでください．
専用品以外をお使いになると，電圧，電流容量などの差異によって本装置を損傷することがあります．

●電池の取扱いを誤ると，発熱，破裂発火の原因となります．
下記のことを必ずお守りください．
- 火の中に投入したり，加熱しないでください．
- (＋)と(－)とを逆にして使用しないでください．
- (＋)と(－)を針金等の金属で接続しないでください．
  また，金属製のネックレスやヘアピン等と一緒に持ち運んだり，保管しないでください．
- 釘をさしたり，ハンマーで叩いたり，踏みつけたり等，強い衝撃を与えないでください．
- 電池を分解したり，改造しないでください．
- 電池を火の側，ストーブの側等の高温の場所や，直射日光の強いところ，炎天下の車内等で使用したり，放置しないでください．
- 電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください．
- バッテリパックの充電は，専用の通信アダプタ以外で行わないでください．
- 電池を，電源コンセント，車のシガレット等に直接接続して充電しないでください．
- 火の側や，炎天下等での充電は行わないでください．
- 乾電池の充電を行わないでください．

⚠注意

一般的注意

●副電池を交換する場合には，メモリ内容保持のために，必ず事前にホストコンピュータへアップロードするなどしてください．
本装置内のメモリ内容が消えるおそれがあります．

●充電が終了するまでは，充電器をコンセントから外さないでください．
正常に充電されないおそれがあります．

●電源を切らずに主電池を抜かないでください．
本装置内のメモリ内容が消えることがあります．

●主電池を交換するときは，副電池が装着されていることを，必ず確認してください．
副電池が装着されていない状態で主電池を抜き取ると，本装置内のメモリ内容が消えてしまいます．

●本装置に強い衝撃を与えたり，落としたりしないでください．

●卓上に置く等の通常操作で直ちに壊れるものではありませんが，万一の事故に備え，以下の対応をお薦めします．
- 入力情報の消失防止
  ホストコンピュータなどへのアップロード
- 落下防止
  リストストラップの利用

●充電器の充電端子を金属類でショートさせないでください．
システムが初期化され，メモリの内容が消失する場合があります．

●本装置の側で携帯電話やＰＨＳを使用されますと，本装置が誤動作する場合があります．携帯電話やＰＨＳをご使用の場合は，本装置から1m以上離してご使用くださるようお願いします．

正しくお使いいただくために

主電池（乾電池または，リチウムイオンバッテリパック）について

●乾電池の場合

●交換催促メッセージ
画面中央に「主電池交換メッセージ」が表示されますと，交換催促のメッセージですので，直ちに電源を切り，速やかに新品のアルカリ電池（2本）と交換してください．この際，副電池の装着を確認してから行ってください．

●リチウムイオンバッテリパックの場合

●充電催促メッセージ
画面中央に「主電池交換メッセージ」が表示されますと，充電催促のメッセージですので，直ちに電源を切り，速やかに充電されたバッテリパックと交換するかまたは，第4章の「電池の交換と充電」を参照し，充電してください．
この際，副電池の装着を確認してから行ってください．
●バッテリパックは使用するに従って，使用時間が短くなる特性があります．充電を行っても使用時間が著しく短くなった場合は，バッテリパックの寿命ですので新しい主電池と交換してください．
また，バッテリパックの寿命は周囲温度／装置の使用条件により変わるため，業務により温度変化の多いところでの使用等の場合は，使用可能な充放電回数が，約 500 回よりも少なくなることがあります．
●バッテリパックは充電催促メッセージが表示される前に充電を始めることが可能です．また，充電完了前に，充電器から取り外してのご使用も可能です．充電方法も変更する必要はありません．
●長時間放置されたバッテリパックは，再度充電を行ってください．
●バッテリパックは専用充電器以外で充電しないでください．
●主電池の(＋)と(－)の端子をネックレス等の金属でショートさせないでください．
●主電池を加熱したり，火の中に投げ込んだりしないでください．
●主電池を高温になった車の中や炎天下など，80℃以上になる所に放置しないでください．
●主電池を水に濡らさないでください．
●主電池に強い衝撃を与えたり，落としたりしないでください．
●主電池を分解したり，改造したりしないでください．
●主電池を「PWR」キーを押したまま交換しないでください．「PWR」キーを押したまま主電池を交換すると本装置内のメモリ内容が消えます．
●主電池収納部のふたを完全にロックしてから，「PWR」キーを押してください．
●寒冷地運用について
温度が低い（0℃以下）と，バッテリの性能が低下するため，寒冷地では運用時間が短くなったり，充電催促メッセージ「主電池交換」を表示せずに電源が切れる場合があります．

- よりよい運用を行うため次のことをお薦めします．
  予備の主電池は，ポケットなどに入れて電池交換の直前まで温かくしておいてください．カイロなどで温める場合は，直接主電池にカイロなどが触れないようお願いします．
- バッテリパックの充電は，10℃～30℃の室温で行うのが最適です．

●ご使用方法
充電のしかたと充電時間については通信アダプタの取扱説明書をご覧ください．
●バッテリの上手な使い方

- 端子部分にゴミや砂等の異物が入らないように注意して使ってください．
  もし，異物が入ってしまった場合には，先の柔らかい綿棒などで完全に取り除いた後，充電器や機器への取り付け，取り外しを数回繰り返してください．
- せっかくバッテリパックが充電してあっても，少しずつ自然に放電してしまいます．なるべく，使用直前に（1～2日以内）充電し直してください．
- 乾電池及びバッテリパックは，なるべく涼しいところで保管し，バッテリパックの充電は周りの温度が 10℃～30℃のところで行ってください．バッテリパックを長持ちさせることができます．

副電池 (リチウム電池) について

●副電池交換メッセージ

副電池の電圧が低下したり，副電池が接続されていない場合，画面中央に「副電池交換メッセージ」が表示されます．直ちに電源スイッチを切り，副電池の交換または接続を行ってください．

長期保管方法

保管は，振動・ほこり・高温・低温・多湿・直射日光を避けた場所で行ってください．
主電池と副電池の消耗を防ぐため，長期(一ヶ月以上)使用しないときは,主電池/副電池を外してください．
但し,記憶されているデータは事前にホストコンピュータへアップロードするなどしてください．

その他の注意事項

●本装置を，分解したり改造したりしないでください．

●次のような場所には短時間でも置かないでください．故障の原因になります．

- 窓を閉めきった日に当たる自動車内など極端に高温になる場所
- 極端に暑い所や寒い所
- ほこりの多い所
- 激しい振動のある場所
- 湿気の多い所

●本装置を持ち運ぶ際，ズボンの後ろポケット等にいれないでください．座ったときに，表示部が割れたりすることがあります．

●本装置に強い衝撃を与えたり，落としたりしないでください．

SMC100 ｼﾘｰｽﾞ関連ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄについて

本装置にプレインストールされているソフトを正しくお使いいただくための説明が記載されているドキュメントです．

このドキュメントは富士通フロンテックの公開ホームページにある SMC100 の製品紹介ページ

http://www.frontech.fujitsu.com/services/index2_j.html

から、ドキュメントダウンロードのページに移動して入手できます。

ただし上記のページからダウンロードのページに移動する際に、ユーザ名・パスワードの入力が必要になりますので

下記のユーザ名・パスワードを入力願います。

ユーザ名 ： TeamPad100

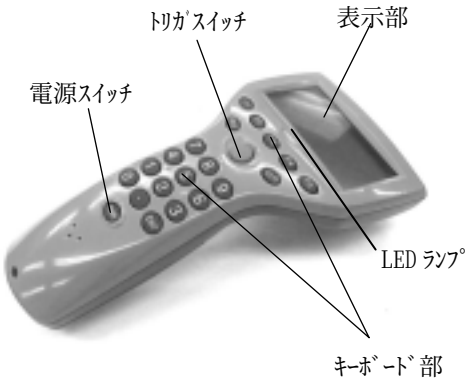
パスワード： tp100fht101a

なお上記の URL は 2003 年 5 月時点のもので、予告なく変更される場合がありますので

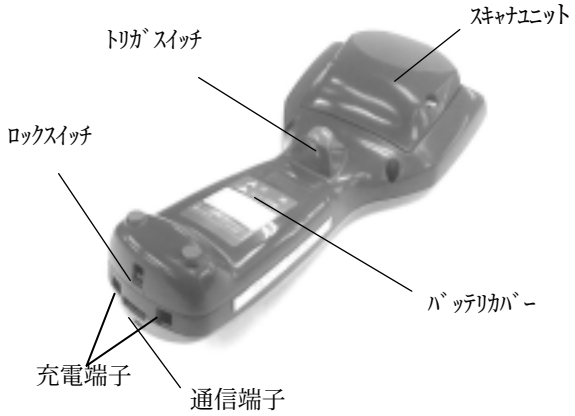
ご了承願います。

1 各部の名称

前面 (SMC101A)



背面 (SMC101A)



2 はじめに

本装置を初めてご使用になる際には, 次の手順に沿って本装置を作動させてください.

1 装置を梱包箱から取り出します.

2 副電池 (ﾘﾁｳﾑ一次電池) を装着します. 主電池が本装置から取り出された時のﾒﾓﾘﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ用に副電池を使用しています.
参照先☞「4.4.3 副電池の交換」

3 主電池を用意します。
SMC101A1 は新品のｱﾙｶﾘ乾電池(2 本)を用意してください.
SMC101A11 は添付のﾘﾁｳﾑｲｵﾝﾊﾞｯﾃﾘﾊﾟｯｸの充電を行います.
参照先☞「4.3 ﾊﾞｯﾃﾘﾊﾟｯｸの充電」

4 主電池 (乾電池または,ﾘﾁｳﾑｲｵﾝﾊﾞｯﾃﾘﾊﾟｯｸ) を本体に装着します.
参照先☞「4.4.1 乾電池の交換」
「4.4.2 ﾊﾞｯﾃﾘﾊﾟｯｸの交換」

5 以後の取扱については SMC100 操作説明書を参照ください.

3 電源について

3.1 主電池（乾電池または,リチウムイオンバッテリパック）について

本装置では，単三乾電池または,充電式のバッテリパック（リチウムイオン電池）を主電池として使用しています.

乾電池交換の場合,必ず2本とも新しいアルカリ乾電池（単三）に交換してください.

お願い
●乾電池運用の場合、アルカリ乾電池以外でのご使用は行わないでください.
装置が誤動作する場合があります.

参照先☞ 交換方法
「4.4.1 乾電池の交換」

バッテリパックは以下の通り消耗品であり，寿命がありますので運用に当たっては定期的なバッテリパックの交換を配慮しておくことが必要です. バッテリパックの寿命は，周囲温度／装置の使用状況などの条件により変わりますが，最適の使用条件下では約 500 回の充放電が可能です.
しかし，業務によりバーコードリーダを多用する，温度の変化の多い所での使用等の場合は，使用可能な充放電回数が約 500 回よりも少なくなることがあります.
バッテリパックはご使用による充放電の繰り返しにより劣化していき，容量が徐々に減少していきます.
満充電後の使用時間が著しく短くなりましたら寿命と考えられますので，早めに新しいバッテリパックに交換してください.

新しいバッテリパックは充電されていませんので，あらかじめ十分に充電してから使用してください.

参照先☞ 充電および交換方法
「4.3 バッテリパックの充電」
「4.4.2 バッテリパックの交換」

3.2 副電池（リチウム1次電池）について

副電池は，取り付けられた主電池がからになったとき，あるいは，主電池交換をするとき，本装置のメモリ内容を保持するために使われます.

お願い
●副電池は，主電池が未装着または完全放電状態の場合，約40日間で消耗します. 副電池を消耗させないために，主電池を常に装着し，管理を行ってください.
なお，本装置を使用しない場合でも，バッテリパックは週1回の充電を行ってください.
●副電池は必ず装着して本装置をご使用ください.
参照先☞交換方法
「4.4.3 副電池の交換」

4 電池の交換と充電

4.1 乾電池運用の場合

乾電池を使用する場合は,必ず2本とも新しいアルカリ乾電池をご使用ください.
また, 本装置の画面に「主電池交換メッセージ」が表示されたときは、すぐに電源を切り, 速やかに新しい乾電池に交換して下さい.

4.2 バッテリパック運用の場合

新しいバッテリパックを使用する場合には, バッテリパックの充電を行ってから使用します.
また, 本装置の画面に「主電池交換メッセージ」が表示されたときは, 使用中のバッテリパックの充電催促ですので, すぐに電源を切り, 速やかに充電されたバッテリパックと交換するか, または下記の要領で充電してください.

4.3 バッテリパックの充電

バッテリパックの充電方法は次のとおりです.
・通信アダプタを使用する　[装置に装着したままでの充電]

4.3.1 通信アダプタを使用する場合

[装置に装着したままでの充電]

1 本装置の電源を切ります.

お願い
電源を切らないで充電を行うと，充電が途中で停止することがあります.

2 バッテリパックは本装置に装着しておきます.

3 本装置を通信アダプタに装着すると充電を開始します.
充電中は「充電」ランプが橙色に点灯し, 終了するとランプが緑色に変わります.

4 約5時間で充電が完了します.

⚠注意

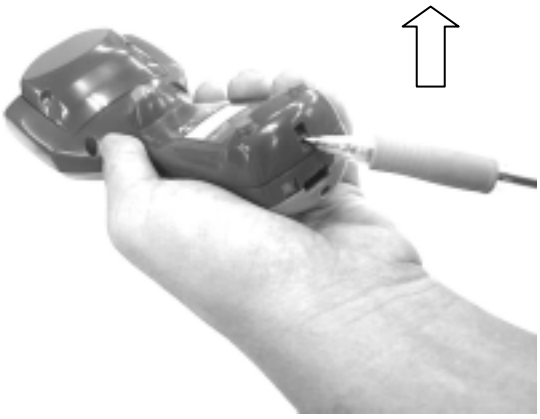
●通信アダプタは専用品をお使いください. 専用品以外を使うと, 電圧･電流容量などの差異により, 本装置を損傷する場合があります.
●充電を正常に行うために, 充電終了までは充電アダプタをコンセントおよびACアダプタから外さないでください.

4.4 交　換

4.4.1　乾電池の交換

1 PWR キーを押して，電源を切ります.

2 ロックスイッチをボールペンの先等を使用して上側にスライドさせます.

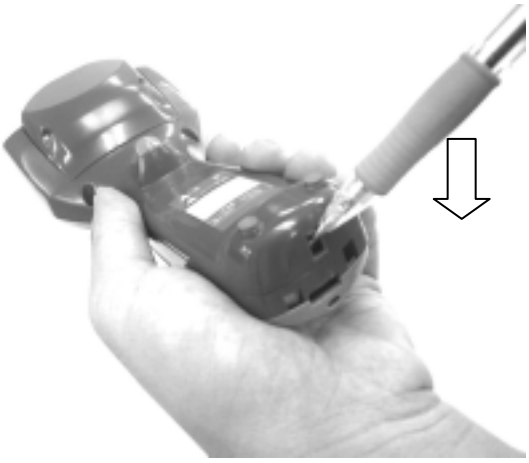


3 バッテリカバーをスライドさせます.

4 消耗した乾電池を抜き取ります.

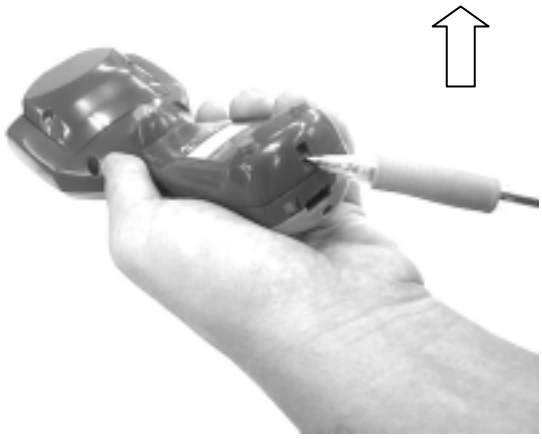
5 乾電池の極性(+,-)を確認して新品のアルカリ乾電池を2本入れてバッテリカバーを閉めます.

6 ロックスイッチをボールペンの先等で下側にスライドさせてから, PWR キーを押して電源を入れてください.
ロックスイッチが上側にある場合は電源は入りません.



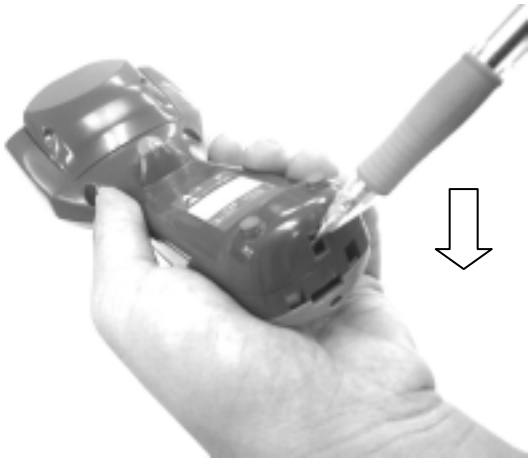
4.4.2 バッテリパックの交換

1. PWR キーを押して，電源を切ります.
2. ロックスイッチをボールペンの先等を使用して上側にスライドさせます.



3. バッテリカバーをスライドさせます.
4. コイン等を使用し、消耗したバッテリパックを取り出してください.

5. 充電したバッテリパックを入れ，バッテリカバーを閉めます.
6. ロックスイッチをボールペンの先等で下側にスライドさせてから，PWR キーを押して電源を入れてください.
   ロックスイッチが上側にある場合は電源は入りません.



⚠注意

●ロックスイッチをスライドさせるのに爪を使わないでください．けがの原因になります．
●操作手順を間違えますと故障やメモリデータ破壊の原因となりますので，ご注意ください．
●バッテリカバーを開けた時にブザーが鳴動した場合は，本体の電源が切れておりません．速やかにバッテリカバーを閉め，本体の電源が切れていることを確認してからバッテリを抜いてください．
●電源を切らないで主電池を抜くと，本装置内のメモリ内容が消えることがあります．
●主電池を交換するときは副電池交換メッセージが表示されないことを，必ずご確認ください．
●電源投入時に副電池交換メッセージが表示される状態で主電池を抜き取ると，装置内のメモリ内容が消えます．

お願い

乾電池タイプからバッテリパックタイプへ主電池を交換するには,本装置から乾電池ホルダを取り外してご使用願います。

⚠警告

●万一，乾電池ホルダが破損した場合，直ちに交換してください．破損したまま通信アダプタに乗せますと，乾電池が液漏れ，破損の恐れがあります．

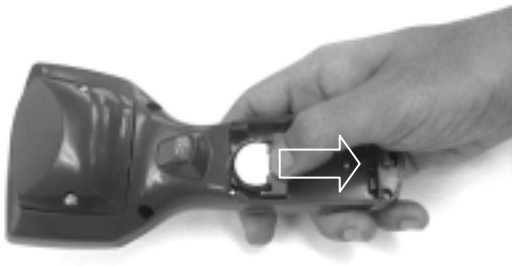
4.4.3 副電池の交換

●副電池の寿命は約3年です．「副電池交換メッセージ」というメッセージが表示されたら直ちに交換してください．

⚠注意

主電池が未装着または，完全放電の場合，約40日で副電池が消耗します．

1. 本装置のメモリ内容をホストコンピュータなどへアップロードしてください．
2. 電源を切ります．
3. 主電池交換のときと同様にして，主電池を外してください．
4. 副電池カバーを開けてください．



5 副電池を取り出します.

6 新しい副電池を副電池カバーに乗せて、元の場所に収納します.

7 主電池交換と同様にして,主電池をセットします.

お願い
副電池は３年で無条件に交換してください.

⚠警告

バッテリパック･副電池は，専用品をお使いください.
また，充電･ショート･分解･加熱･火中への投げ入れ等をしないでください.
破裂･液漏れや，装置が故障する場合があります.

5 清掃

本体カバー部

アルコール（エチルアルコール）をしみ込ませた布，中性洗剤を薄めた水溶液に浸し固く絞った布，または，乾いた布で拭く様にしてください.
ただし水溶液を使用する場合は，布を固くしぼらないと水溶液が装置内部に入り込み，故障の原因となることがあります.
なお，シンナー，ベンジンなどの揮発性のもので装置を拭きますと，変色したり文字が消えたりすることがありますので使用しないでください.

表示部

アルコール（エチルアルコール）をしみ込ませた布，水に浸し固く絞った布，または織り目の非常に細かい眼鏡拭きで拭いてください.

スキャナ窓部

スキャナ窓が汚れている場合は，柔らかい布(サプライ品:0632320 相当)，または織り目の非常に細かい眼鏡拭きを使用してください. また，薬品類（ベンジン･シンナー･アルコールなど）は使用しないでください.
スキャナ窓に変色･傷･曇りが出来てバーコードの読取りが悪くなります.

6 外部機器との接続

6. 1 通信アダプタ/スタンドとの接続

1 本装置および通信アダプタ/スタンドの通信端子/充電端子が汚れていないことを確認します. 汚れている場合は, 水でうすめた中性洗剤にひたした綿棒などを用いて汚れを拭きとってください.

⚠注意

通信端子部/充電端子部が汚れたままですと, 正常な通信/充電が行えない場合があります.

2 通信アダプタ/スタンドに本装置を乗せます.

⚠注意

通信中に本装置を通信端子から外すと, 通信異常とならずに通信中の画面から抜けなくなる場合がありますが, 故障ではありません.
本現象が発生した場合は, 速やかに通信アダプタ／スタンドに接続し直すか, 電源の切／入を行ってください.

7 バーコードリーダ

7．1 操作方法（操作方法の詳細は SMC100 操作説明書を参照下さい ．）

1 ﾄﾘｶﾞｽｲｯﾁを押します. スキャナ読取り窓から赤い走査線が発せられます.

2 走査線がバーコードを横切るようにあてます

3 読取完了後, 走査線が自動的に止まりますので読取りｽｲｯﾁを放します.

⚠警告

走査線が発射されているときは, 読取窓をのぞかないでください.

📖参考📖

トリガスイッチを押し続けても, バーコードがないと判断すると約１秒で走査線が止まります.
読取れない場合は, バーコードにあてる走査線の位置を変えたりして読取りを行ってみてください.
走査線が複数のバーコードを横切った場合はどのバーコードを読取るか特定できませんので注意が必要です.

8 故障かなと思ったら

8.1 症状と対応

症状	原因	対応
電源が入らない	主電池の電圧の低下が考えられます.	主電池を交換または，充電してください.
	バッテリパックの寿命が考えられます.	新しいバッテリパックと交換してください.
	主電池は正しく装着されていますか.	４章をご覧になり正しく装着してください.
	主電池バッテリカバーは閉じていますか.	主電池バッテリカバーを閉じてください.
画面が真っ黒だったり薄くてみえない	画面の濃さを調整する必要があります.	SMC100 操作説明書をご覧になり調整してください.
	主電池がなくなっている可能性があります.	主電池を交換または，充電してください.
電源キーで電源を入れたとき，画面が一瞬表示された後，消えてしまう	主電池の電圧の低下が考えられます.	主電池を交換または，充電してください.
ブザーが鳴らない	ブザーが鳴動禁止状態である可能性があります.	SMC100 操作説明書をご覧になり調整してください.

⚠注意

復旧作業等により本装置のメモリデータが破壊，消失する恐れがありますのでご注意願います.

お願い
データの破壊，消失を防止するため，事前にホストコンピュータ等に転送しバックアップをとっていただきますようお願いいたします.

9 電池の交換と充電

お客さまに交換していただく必要のある消耗品を記載しています.

品名	商品番号	装置	寿命	記事
リチウムイオンバッテリパック(主電池)	0643750	SMC101A11	約 500 回充放電（注１）	消耗品
リチウム電池(副電池)	0643370	SMC101A1 SMC101A11	主電池が未装着または，完全放電の場合，約４０日で消耗 無条件で約３年	消耗品
SMC101A 乾電池ホルダ	0643755	SMC101A1 SMC101A11	――――――――――	壊れたら交換

注 1: バッテリパックの寿命は，周囲温度／装置の使用状況などの条件で変わるため，使用可能な充放電回数が 500 回よりも少なくなることがあります.

上記消耗品以外でも，当社の定める使用基準を超えて使用した場合に有償での交換が必要になる部品が生じる場合があります.

使用基準ならびに交換の必要が生じる可能性のある部品の詳細については当社営業までお問い合わせください.

10 添付品

装置	添　付　品
SMC101A1	・副電池　　１個 ・リストストラップ　　１本 ・取扱説明書（本書）
SMC101A11	・主電池　　１個 ・副電池　　１個 ・リストストラップ　　１本 ・取扱説明書（本書）

11 仕様

項 目		仕 様		備 考
制御部	CPU	32 ビット		
	メモリ	ROM	1M バイト	
		RAM	1M バイト	
表示部	表示素子	液晶		
	画面サイズ	横 180ﾄﾞｯﾄ×縦 84ﾄﾞｯﾄ 漢字 15 桁×6 行 ANK 30 桁×6 行		12×12ﾄﾞｯﾄﾌｫﾝﾄ 6×12ﾄﾞｯﾄﾌｫﾝﾄ
	表示文字	漢字／ANK		JIS 第 1 水準／第 2 水準漢字
ブザー		４音量／オフ		周波数設定による音階設定機能あり
操作部		電源キー，テンキー，トリガキー，その他（22 キー）		トリガキーは装置表面及び裏面にそれぞれ 1 箇所ずつ配置
カレンダ時計		年／月／日／時／分／秒（月差±３分） 閏年自動補正		
インタフェース	接続条件	通信コネクタ		
	ｲﾝﾀﾌｪｰｽ	RS232C(SD/RD のみ)		
	同期方式	調歩同期		
	手順	ハンディ手順		
	通信速度	19200[bps]		
ﾊﾞｰｺｰﾄﾞﾘｰﾀﾞｰ	方式	ﾚｰｻﾞ方式		
	レート	約１００ｽｷｬﾝ/秒		
	深度	約 0cm～40cm（注 1）		
	アングル	約４0°		
	種別	NW7, CODE39, CODE128, JAN, EAN UPC, Inter Leaved 2 of 5		

項 目		仕 様	備 考
電 源	主電池	単三アルカリ電池×2 または， 充電式リチウムイオン電池パック	
	運用時間（注 2）	SMC101A	単三ｱﾙｶﾘ乾電池使用時 約 100 時間 バッテリパック使用時 約 80 時間
	充電表示	本体表示部に電池交換メッセージ表示	
	充電時間	約５時間（通信アダプタ使用）	通信アダプタはオプション
	節電機能	自動電源オフ機能	
	副電池	リチウム一次電池	電圧降下時のアラームメッセージ あり （本体表示部） 主電池交換時のメモリ内容保護用
寸法重量（注 3）		SMC101A	45[85]×165×30[35]mm， 約 220g
環境条件		SMC101A	温度 運用時：－5～50℃ (メモリバックアップ時を含む) 保存時：－20～60℃
			湿度 運用時：20～85% 保存時：８～95%

注 1: 最大読み取り深度はナロー幅が 40mil のバーコードの場合です.
注 2: 運用時間は,新品電池,常温で 600 スキャン行った場合の値です.
注 3: [ ] は表示部上部の数値です.

12 ｵﾌﾟｼｮﾝ機器

品 名	型 名	仕様概要
通信アダプタ	SMCLA101	ハンディターミナルを上に載せるだけで親機との通信が可能. 本体に装着した主電池（バッテリパック）の充電機能付き.
スタンド	SMCST101	ハンディターミナルを上に載せるだけで親機との通信が可能.
光アダプタ ケーブル	SMCCB511	SMCLA101/ST101 と親機(FM-V)との接続用通信ケーブル

SMC100シリーズ
(SMC101A)
取扱説明書

2003年 4月 初版発行

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株フロンテック式会社 2003

・本書は，改善のため事前連絡なしに変更することがあります.
・本書を無断で他に転載しないようにお願いします.
・落丁，乱丁はお取り替えいたします.

ＫＤ９１３０８－０２２０